

## コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年5月24日

2005年5月22日現在：

5月22日に終わる週では、各地にて殆ど降雨が記録されなかった。気温は上昇し、平均気温は平年を10度以上上回った。Topsoil及びSubsoilの水分は、乾燥・高温気象により急激に減少した。1週間の州平均農作業稼働日数は6.6日(前週：5.7日)であった。

冬小麦の95%が節間伸長期(Joint)に入り43%が出穂した。この1週間の高温で生育は急速に早まった。冬小麦の作柄は、高温の為前週より更に評価が落ちた。

5月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は昨年の約3割増の35.0bu/ac(2004年産実績：27.0bu/ac)、作付面積は2,450,000エーカーと予想され、生産量は85,750,000Buであった。詳細は別表の通り。

土壌水分：5月22日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	14	73	9
Subsoil (%)	11	33	52	4

生育状況：5月22日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Jointed (%)	95	98	95
Headed (%)	43	77	53

作柄状況：5月22日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	4	12	30	36	18
Last week (%)	1	10	27	38	24

Source：Colorado Agricultural Statistics Service

5月1日付けUSDA生産量予想(冬小麦)

Crop State	Harvested Area		Yield		Production		
	1,000 acres		bushels/acre		1,000 bushels		
	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
NE	1,700	2,450	27.0	35.0	77,000	45,950	85,750
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)